



平成25年10月1日

南会津町議会

議長 芳賀沼 順一 様

南会津町文教厚生委員会

委員長 湯 田 秀 春



平成25年度文教厚生委員会行政視察研修報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

1. 研 修 日 平成25年9月3日（火）～5日（木）
2. 場 所 ①福岡県篠栗町 「オアシス篠栗」
 ②長崎県西海市 社会福祉法人「ふるさと」
3. 目 的 ①介護支援ボランティア制度について
 ②福祉＋農業のルネサンス事業について
4. 研修時間 ①平成25年9月3日（火）午後3時00分～午後4時30分
 ②平成25年9月4日（水）午後2時00分～午後4時00分
5. 参 加 者 委 員：湯田秀春・室井嘉吉・湯田良一・星登志一・大竹幸一・菅家幸弘
 事務局：舟木浩隆

6. 内 容

①福岡県篠栗町 介護支援ボランティア制度について

篠栗町は福岡市内から東に約12kmの位置にあり、東西約8km南北約7kmで総面積は約40km²であり、南会津町の22分の1という小さな町です。

介護支援ボランティア制度は東京都の稲城町が全国で初めて取り入れ、平成22年に福岡県では篠栗町が初めて取り入れました。

この制度は、町へ登録した65歳以上のボランティア希望者が、町内の老人ホームなどに住所している高齢者の話し相手になったり、レクリエーション活動をしたり、散歩・外出・管内活動の補助などをするもので、町内の11施設や一部の公共施設が対象施設となっています。篠栗町は、その間に入ってボランティア活動がスムーズに行えるよう仲介します。

ボランティアが終了すれば、そこの施設名と日付けが入ったスタンプをカードに押印してもらいます。ボランティアには現金と交換できるポイントがカードに押印され、1時間のボランティアで1ポイントとして100円が支払われます。1日2ポイントが上限、年間では50ポイント（5,000円）が上限となっています。

ボランティアの登録者数は、男性21人・女性100人ですが、その内訳は65～69歳は46人（38%）、70～79歳は67人（55%）、80～89歳は7人（5%）、90～99歳は1人（0.8%）で、元気な老人づくりが行われています。

ポイント現金化のうち、22人が辞退しているそうです。辞退の理由の中には、「自分が健康

で人のために役立てることの感謝」であるとのことでしたが、菅家副議長が辞退者には温泉入浴券を進呈してはと提案したところ、是非実施してみたいと言われました。

研修の説明は「オアシス篠栗」という施設で行われましたが、この施設は役場の健康課高齢者支援係、社会福祉協議会や包括支援センターも入っているほか、入浴施設、プール、ストレッチ体操施設、囲碁、将棋、カラオケなども行える、まさに総合福祉施設で、高齢者が一日中滞在できる施設となっています。

②長崎県西海市 社会福祉法人「ふるさと」でのルネサンス事業について

西海市は、平成17年に近隣5町（西波町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町）が合併してできた市で、本庁を旧大瀬戸町に置いています。面積は341.95km²で南会津町の3分の1程度、人口は平成19年3月には33,548人でしたが、平成25年8月現在で30,337人と減少しています。

西海市の社会福祉法人「ふるさと」では、長崎県の緊急雇用対策事業を活用し、高齢者の知恵と遊休農地を生かし地域に貢献する事業を行い、新規雇用者2人（男性1人・女性1人）を採用し、男性が遊休農地の整備と農産物の栽培を、女性は農産物を使った加工品づくりを始めました。

財源は、国・県の補助約566万円と自己資金約200万円の計約770万円で、うち人件費が約280万円、調査委託料が約120万円、残りが事業運営費でありました。

施設周辺の遊休農地に芋・蕎麦・大根などを作付けて、施設の食材に利用するとともに、入所者に畑の草取りや脱穀作業などをしてもらうことにより、園芸療法・生活リハビリとしての役割を担い、これが「農力×福祉」によるルネサンス事業とされています。

同時に取り組んでいる郷土料理「ぼーぶらずーし」の再現と商品化です。これはイリコだし・小豆・カボチャを入れた発芽玄米の雑炊で、栄養価も高く低カロリーでヘルシーな料理です。

研修では担当の新規雇用者から説明を聞きましたが、男性の方は今年になって市議会議員に当選したため多忙となり、女性の方は家の都合で休職中であり「ぼーぶらずーし」のレトルト食品としての販売が遅れている状況でした。

7. 所 見

①福岡県篠栗町 介護支援ボランティア制度について

総合福祉施設「オアシス篠栗」については、南会津町でもこういう施設がほしいという見解になりましたが、広い地域を有する南会津町では、東部地区・西部地区それぞれに建設が必要であり、費用の面からも厳しいと思います。

しかし、ボランティアへのポイント制度については、町や社会福祉協議会等で仲介すればすぐにでも可能であり、ボランティア活動をする人の励みにもなることから、更なる福祉サービスの向上に繋がるため、南会津町でも必要であると思いました。

②長崎県西海市 社会福祉法人「ふるさと」でのルネサンス事業について

周辺施設の遊休農地に芋・蕎麦などを作付けし、それらを施設の食材として利用したり、入所者も園芸に触れることでリハビリとしての効果を狙うことは素晴らしいと思います。

今後どのような経過をたどるのか、推移を見守りたいと思いました。

社会福祉法人の経営ばかりでなく、「農力×福祉」によるルネサンス事業をチャレンジする哲学に敬意を感じました。

南会津町では、降雪期間を考慮すると事業実施は難しいのではないかと考えられます。